

Kubotek KeyCreator™ V8.02 リリースノート

● SIM (センチネル・プロテクタ) ドライバーのインストールについて

コンピュータに初めて KeyCreator をインストールする場合は、CD-ROM を起動して SIM のドライバーをインストールする必要があります。

● ライセンスファイルについて

KeyCreator を実行するには、ソフトウェアをインストールしたディレクトリの直下に、専用のライセンスファイルが必要になります。KeyCreatorV8.0 のライセンスファイルは、同梱されている「KeyCreator Version8.0 License File」の CD-ROM をセットしてください。自動的に立ち上がりますので、「次へ」を押して実行してください。インストール先の選択で KeyCreatorV8.0 をインストールしたフォルダが指定されているかご確認ください。

バージョンアップのユーザ様は、別紙「KC8.02 へのバージョンアップ手順」をご覧ください。

● オンラインヘルプ 既知の不具合【1】

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンは現在機能していません。クリックしても自動的にオンラインヘルプは開きませんのでご注意ください。

- ・ツール：要素確認：マस्पロパティ：オプションダイアログボックス
- ・ツール：要素確認：抜き勾配角

● オンラインヘルプ 既知の不具合【2】

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンをクリックすると、別のコマンドのヘルプページが参照されます。

- ・寸法：注記：キー入力 寸法：設定：パラメータが開く
- ・寸法：注記：ラベル 寸法：設定：パラメータが開く

上記の不具合 1, 2 に該当するコマンドのオンラインヘルプを参照するには、メニューバー：ヘルプ：目次 をクリックし、目的のコマンドを参照してください。

● オンラインヘルプの注意事項

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンからは、同じ内容のダイアログボックスを持つ別コマンドのオンラインヘルプページが参照されます。これは仕様ですが、混乱のないようご注意ください。

- ・作図：拡張サーフェス：スキン/ロフト曲面
作図：押し出し・回転・スイープ：ロフト を参照します。
- ・形状修正：フィーチャ：板金曲げ変更
作図：ソリッドフィーチャ：板金曲げ作成 を参照します。
- ・形状修正：フィーチャ：フィーチャ抑制
作図：ソリッドフィーチャ：フィーチャ検出 を参照します。
- ・寸法：製図要素：幾何公差のデータムタブページ
寸法：製図要素：データム を参照します。
- ・寸法：ハッチング：変更 寸法：ハッチング：作成 を参照します。

- **レンダリング表示がおかしい時**

ツール：オプション：表示のタブにあるグラフィックタイプを、「ソフトウェア OpenGL」にして KeyCreator を再起動してください。

- **アンチエイリアス処理**

ツール：オプション：表示のタブにあるグラフィックタイプに、アンチエイリアスの項目があります。このアンチエイリアスはエッジのギザギザ感を軽減するためのグラフィック表示処理ができるのですが、ご使用のグラフィックカードにより、画面の表示がおかしくなる場合があります。ハードウェア OpenGL を選択した状態でアンチエイリアスを使用しないでください。

- **PDF 読込について / 不具合**

Ver8.0 で書き出した 3D PDF を読み込むと「未知の例外が発生」のエラーになります。旧 Ver7.53 で書き出した 3D PDF ファイルは読み込めます。

- **Hoops ウェブページについて / 注意事項**

Hoops ウェブページとストリームで 2byte-code（日本語などの 2 バイトの情報量で識別できる文字）のファイル名やフォルダ名をサポートしていません。

- **Catia V5 読込について / 注意事項**

Catia V5 読込には制限があり、ファイル名、フォルダ名に日本語などの非 ASCII 文字は対応していません。

- **NC 加工について / 注意事項**

荒加工：周回荒加工、仕上げ加工：周回仕上げ加工は現在動作しません。

- **外部変換の正式対応バージョン**

ファイル形式	サポートバージョン	データ変換	アセンブリファイルの読込
ACIS	1.5 - R18 まで	読込 & 書出	該当せず
CATIA V4	4.1.9 - 4.2.4	読込 & 書出	No
CATIA V5	V5 R2 - V5 R18	読込	Yes
	V5 R6 - V5 R18	書出	Yes
DWG/DXF	2007 までの全 Version	読込	No
	R12 - R14, 2000/2002, 2004 - 2006	書出	No
IGES	5.3 まで	読込	Yes
	5.3	書出	Yes
Autodesk Inventor	6 - 11, 2008	読込のみ	Yes (Ver 11, 2008)
Parasolid	10.0 - 19.0.172	読込	Yes
	12.0 - 19.0.172	書出	Yes
Pro/E	16 - 2001, Wildfire1 - 3	読込のみ	Yes
Solidworks	96 - 2008	読込のみ	Yes
STEP	AP203, AP214	読込 & 書出	Yes
Unigraphics	11 - 18、NX1, NX2, NX3, NX4, NX5	読込のみ	Yes
CADL 19	ImageModelor まで	書出のみ	該当せず

上位バージョンで作成した KeyCreator のファイルは、下位バージョンで開くことはできません。

Kubotek KeyCreator™ V8.02 新機能

各機能、使い方の詳細はオンラインヘルプの「KeyCreator8.0 リリースノート」をご覧ください。

ファイル/データ変換

- **OBJ 書き出し【新コマンド】**

(ファイル：書き出し：OBJ)

モデルもしくは選択する要素の 3D ファセット情報を obj ファイルとして書き出しすることが出来るようになりました。obj フォーマットは CG などのレンダリングアプリケーションで使用されています。

- **単位系許容誤差の追加設定**

(ファイル：プロパティ：単位系/許容誤差)

単位系/許容誤差のタブに「エッジ/曲線の法線角度許容誤差」の設定が追加になりました。円弧、コニック、スプライン、NURBS をテセレーションに定義できます。それはテセレート表現された隣接した線分間の最大許容角度です。角度は 1 から 20 の範囲で入力して下さい。この値が小さいと曲線のよりなめらかになります。反対に大きいと粗くなります。

注意：前のバージョンの「法線角度許容誤差(度)」は「ソリッド/シート物体の法線角度許容誤差(度)」に変更になりました。

- **DXF/DWG 書き出しのオプション設定**

(ファイル：書き出し：AutoCAD DXF / DWG)

DXF と DWG の書き出しオプションに「全レベルを単一の AutoCad レイヤに書き出し」が追加になりました。この設定を選択すると、KeyCreator ファイルの全ての形状が一つのレイヤに平面化されます。これはレイアウトを書き出しするときに役立ちます。

- **PDF 書き出しのオプション設定**

(ファイル：書き出し：PDF)

PDF 書き出しオプションダイアログに「点のサイズ」「印刷設定を使用」が追加になりました。

点のサイズは、印刷する点要素のサイズを指定します。

印刷設定を使用は、プリンタ/プロッタ設定 (ツール：オプション：プリンタ/プロッタ) の設定を使います。

- **Pro/E アセンブリのカットフィーチャの読み込み**

(ファイル：読み込み：Pro/Engineer)

アセンブリのカットフィーチャを読み込むことができるようになりました。このフィーチャはパートリファレンスからの減算ツールによって、Pro/E のアセンブリレベル内に作成されます。また、ユーザインターフェース効果は持っていません。

- **表示パフォーマンスの改良**

表示パフォーマンスを改良しました。

表示パフォーマンスを上げるための下記のオプション設定が追加されました。

- ・ファイル：プロパティ：単位系/許容誤差のタブ：エッジ/曲線の法線角度許容誤差
- ・ツール：オプション：表示のタブ：表示の間引きを有効にする、回転の間引きを有効にする、テキストの文字化けを有効にする

編集

- **モードレスダイアログのシングル属性変更【新コマンド】**

(編集:要素:シングル属性変更)

ダイアログを閉じなくても作業を続けることができるモードレスダイアログの属性変更です。ダイアログ内で希望の属性を設定し、ビューポート内の要素をクリックすると設定した属性に変わります。

- **投影図修正ダイアログに「投影図枠の属性設定」を追加**

(編集:要素:汎用編集)

投影図修正ダイアログの投影図属性の設定欄に「投影図の枠の属性」が追加されました。



- **名前登録機能を編集メニューに移動**

(編集:要素:ネーミング)

名前登録の機能がツール:合成要素メニューから、編集:要素メニューへと移動しました。

表示

- **フォーンシェーディング【新コマンド】**

(表示:レンダリング:フォーンシェーディング)

陰影のついた表現でソリッドモデルを表示することができます。この機能は、表示:レンダリング:グーローシェーディングより、より自然に近い表現方法になります。

- **シャドウマップ【新コマンド】**

(表示:レンダリング:シャドウマップ)

モデルの曲面上に影を作成します。この機能は Direct3D ドライバを使用している時のみ有効です。

- **鏡面反射【新コマンド】**

(表示:レンダリング:鏡面反射)

モデルの鏡映を作成します。

- **スムーズシェーディングからグーローシェーディングへ名前変更**

(表示:レンダリング:グーローシェーディング)

本バージョンからスムーズシェーディングがグーローシェーディングになりました。機能は同じで、名前のみの変更になります。

- **断面ビューに「トリム」オプションを追加**

(表示:断面ビュー、表示:セクション断面)

平面を指定後「トリム」ボタンをクリックすると、断面ビュートリムダイアログが表示されます。トリムまたは分断の指定、断面に交線を作成、断面にハッチングを作成の機能があります。

- **ビュー指定の「作-デプス」に「リスト」を追加**

(表示:ビュー指定)

「作-デプス」オプションボタンに「リスト」ボタンが追加になりました。

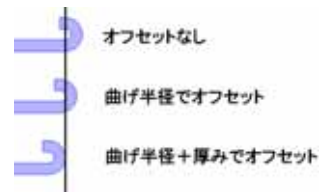
「リスト」ボタンをクリックすると作図面選択リストダイアログが表示され、キー入力する代わりに、ここから作図面を選択することができます。

作図

● 板金フランジ作成ダイアログの追加設定

(作図：ソリッドフィーチャ：板金フランジ作成)
下記項目が追加になりました。

オフセットなし、曲げ半径でオフセット、曲げ半径+厚みでオフセット
ベンドの曲げ開始を後方にオフセットします。板金パートは寸法を維持して板金操作を行うことができます。



面まで曲げる

チェックを入れている場合、フランジを作成する際にもう一つの面を選ぶことができます。

フランジ角度とオフセットは選択した面にフランジ面が平行に近接するよう自動的に設定されます。

ふたつの面が結合しないように、わずかな隙間を残しています。



● 輪郭要素の選択操作がより便利になりました

(作図：押出し・回転・スイープ：押出し、回転、スイープ、)

(作図：ソリッドフィーチャ：突き出し、くり貫き)

- ・ 平面上の閉じた境界曲線を輪郭要素から選択すると推測し、直ちに選択できるようになりました。
- ・ 上記の機能において、今までより耐誤差制(誤差に耐え得る能力)に優れています。
旧バージョンでは 1.0e-06 以上の誤差は認識されていませんでした。

形状修正

● 自動トリム機能【新コマンド】

(形状修正：短縮/延長：第一要素自動、形状修正：短縮/延長：両要素自動)

自動トリム機能は1つの要素を指示するだけで、自動的にその要素の一番近くに接する第2の要素を選びます。

第一要素自動は1つの要素を選択し、その要素に交差する一番近い要素を自動検出してトリムします。

両要素自動は第一要素自動でのトリム(選択要素を一番近い要素と交わる交点で切る)に加え、同じ交点を通るもう一つの要素もトリムします。

● ボディの面上変形【新コマンド】

(形状修正：ボディワープ：ボディの面上変形)

ソリッド物体を平面から非平面にワープすることが可能です。例えば、平らな曲面上のタイヤの溝形状を設計し、それを回転曲面までワープする場合、または靴の平らな溝形状をデザインし、それを靴の底までワープする場合にこの機能を使います。また、ソリッド物体の回りに文字をワープする時にも使うことができます。

● ソリッドのトリム分割ダイアログの追加設定

(形状修正：ソリッドのトリム/分割：曲線でトリム/分割)

シート物体/面でトリム/分割、平面でトリム/分割)

これらのコマンドのダイアログに「複数のソリッドを選択」のチェックボックスが追加されました。一度に複数のソリッドを選択することができます。

● 穴の編集ダイアログのボタン表示が改良

(形状修正：フィーチャ：穴の編集)

穴の編集ダイアログのボタン表示が変わり、わかりやすくなりました。

これらのボタン表示は、ツール：加工要素のアイコンメニューと同じです。機能に変更はありません。

寸法

- **モードレスダイアログの寸法要素変更【新コマンド】**

(寸法：寸法要素変更：寸法補助、 寸法：寸法要素変更：公差)

ダイアログを閉じなくても作業を続けることができるモードレスダイアログの寸法変更です。寸法補助は直線寸法の表示の詳細を変更します。公差は寸法の公差を変更します。

- **穴リスト CSV 書出し【新コマンド】**

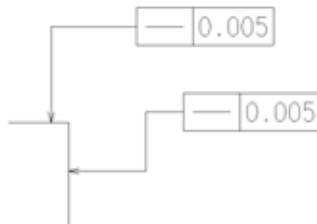
(寸法：注記：穴リスト CSV 書出し)

穴リストで作成したリストから穴の中心位置を ASCII CSV ファイルに書出します。

- **幾何公差に折れ線付きの引出線を追加**

(寸法：製図要素：幾何公差)

オプションのタブ、引出線の中に「水平/垂直折れ線」の選択肢が追加されました。シンボル位置を指示したところから従って、一つまたは二つの折れ線が付きます。



- **寸法パラメータに「既存要素から獲得」ボタンを追加**

(寸法：設定：パラメータ)

寸法オプションダイアログの左側ツリーの各トップ(グローバル、詳細要素、直線寸法、円弧寸法、角度寸法、基準寸法、弧長寸法)に「既存要素から獲得」ボタンが追加されました。既に寸法がある場合に有効です。このボタンをクリックし、寸法要素を選択すると、指示した要素と同じ設定内容が各ツリーに反映します。

- **補助線に水平/垂直のスナップオプションを追加**

(寸法：寸法補助：補助線)

補助線の端点オプションを選択する際に、最初の点をクリックしてから右クリックをすると、手動または水平/垂直のスナップオプションを表示します。

- **中心線が汎用編集に対応**

(寸法：寸法補助：中心線)

汎用編集を使って、中心線を編集できるようになりました。

- **シート物体から断面図を作成**

(寸法：断面図)

曲面モデルから断面図を作成することが出来るようになりました。

- **直列整列と寸法結合が非連動寸法にも対応**

(寸法：直線寸法：直列整列、 寸法：直線寸法：寸法結合)

直列整列と寸法結合機能が非連動寸法にも有効になりました。

複写移動

- **部品組立が複写移動のメニューへ移動**

(複写移動：部品組立)

部品組立の機能が、Qwins の CDE のロードから KeyCreator の複写移動のメニューへと移動しました。

レイアウト

- **投影図【新コマンド】**
(レイアウト: 投影図から作成)
1つの投影図から様々な方向のビューを配列作成します。
- **活性投影図を削除**
このリリースから、レイアウト：活性投影図コマンドが削除されました。

アセンブリ

- **リファレンス変換【新コマンド】**
(アセンブリ：リファレンス変換)
この機能は、ファイル：書き出し：KeyCreator 部分のオプションダイアログで要素をパートリファレンスに置換えを選択して、相対パスを保存のオプションをチェックした時と同じ機能になります。
- **パートリファレンスに寸法要素を含めて表示【新コマンド】**
(アセンブリ：寸法要素表示)
アセンブリメニューに寸法要素を含めて表示するかどうかを切替え設定できる機能が加わりました。
 - ・パートリファレンスを新規作成ダイアログのオプションタブに「パートリファレンスの表示に寸法要素を含む」チェックボックスを追加
 - ・パートスプリッタ切替えのパートリファレンスタブに寸法表示の列を追加
- **パートリファレンスにレンダリングのタブを追加**
(アセンブリ：リファレンス作成：レンダリング、編集：要素：汎用編集：レンダリング)
リファレンス作成にレンダリングのタブを追加しました。このタブでパートリファレンスにレンダリングをするために、レンダリングモードを選んだり、透明度を設定にチェックを入れ、パーセントで設定します。パートリファレンスを編集するときは、編集：汎用編集でレンダリングを使ってください。
- **軽量モードにならないときにメッセージを追加**
(アセンブリ：軽量モード、パートスプリッタ：アセンブリ：軽量)
パートリファレンスを軽量モードにしようとしてできない場合、メッセージが表示されるようになりました。

ツール

- **テンプレート生成ダイアログに「相対に設定」ボタンを追加**
(ツール：部品表(BOM)：テンプレート作成)
テンプレート生成ダイアログに「相対に設定」ボタンが追加になりました。このボタンで開いているパートファイルとテンプレートファイルのパスを相対にすることができます。
- **BOM 作成ダイアログにボタンを追加**
(ツール：部品表(BOM)：部品表作成)
部品表作成ダイアログの「追加」ボタンを選ぶと表示されるカテゴリテンプレート編集ダイアログに「相対に設定」ボタンが追加されました。

BOM ダイアログの新規部品表に「印刷ファイルリスト」ボタン追加になりました。現在開いているパートの全てのBOMで使うファイルをレポートに印刷します。

BOM ダイアログのデータパネル内に「上へ移動、下へ移動、アイテムのV.オブジェクト追加」ボタンが追加になりました。部品表作成で表示されるアイテムを上へ移動、下へ移動のボタンを使って、並び替えができます。

「アイテムのV.オブジェクト追加」は、ツール：部品表(BOM)：バーチャルオブジェクトを選んだ時と同じダイアログが表示されます。このダイアログで部品表にバーチャルオブジェクトを生成することができます。

- **最大距離を確認【新コマンド】**

(ツール：要素確認：距離：最大距離)

最短距離と同様の方法で、最大距離を確認することができるようになりました。

- **面のカラー分布、シェルのカラー分布【新コマンド】**

(ツール：要素確認：誤差：面のカラー分布、シェルのカラー分布)

選択した2つの面または2つのシェルの偏差を視覚的に色分けして表示します。

- **オプション設定ダイアログをツリー構造へ変更**

(ツール：オプション)

オプションの設定ダイアログをタブ構造からツリー構造へと変更しました。

- **位置設定の検出点に「切断点」を追加**

(ツール：オプション：位置)

位置スナップ検出点に「切断点」を追加し、ワイヤーフレーム(直線、ポリライン、円弧、コニック、スプライン、NURB スプライン)と断面ビューの交差点をスナップ検出できるようになりました。

- **位置メニューツールチップの改良**

(ツール：オプション：位置)

「位置メニューツールチップにカスタム設定を使用」チェックボックスが加わりました。ユーザーのカスタム設定を位置メニューツールチップに使用することができます。

- **オプション設定ダイアログの表示のタブに追加設定**

(ツール：オプション：表示)

次の項目を表示設定に追加しました。

- ・全画面 表示される画面を全て、アンチエイリアス使用に設定します。
- ・表示の間引きを有効にする 閾値フィールドで指定する値よりも小さい画素サイズのソリッドやシェルを表示しないように設定します。
- ・回転の間引きを有効にする 閾値フィールドで指定する値よりも小さい画素サイズのソリッドやシェルを回転中に表示しないように設定します。
- ・テキストの文字化けを有効にする 限界フィールドで指定するポイントサイズ(1ポイント - 1/72インチ)より小さい表示になる場合、トゥルータイプテキストの代わりにグリッドラインで表示します。

- **ツールチップの要素名表示を改良**

要素確認のツールチップに合成要素、リファレンスファイルの名前が表示されるようになりました。

